

～新たな都心居住のモデルとなる、うるおいとにぎわいある水辺のライフスタイルを創出～

（仮称）豊洲地区1－1街区開発計画 都市計画決定 **2021年度 完成予定**

東急不動産株式会社（本社：東京都港区、社長：大隈 郁仁）と株式会社NIPPO（本社：東京都中央区、社長：岩田 裕美）、大成有楽不動産株式会社（本社：東京都中央区、社長：浜中 裕之）は、東京都江東区豊洲五丁目で計画中の「（仮称）豊洲地区1－1街区開発計画」に関し、本日、計画地を含む豊洲地区地区計画の都市計画決定が告示されましたので、お知らせいたします。なお、本計画は2021年度に竣工する予定です。

本計画では、大規模開発が進む東京湾岸エリアにおいて、東京メトロ有楽町線「豊洲」駅徒歩4分という交通利便性・水辺に隣接する良好な環境を最大限活かした、新たな都心居住のモデルとなる、うるおいとにぎわいある水辺のライフスタイル創出を目指したまちづくりを推進してまいります。



完成予想図（東電堀から）

■「（仮称）豊洲地区1－1街区開発計画」の特徴について

<開発の目標>

水辺に近接する良好な環境を活かした生活利便性の高い居住機能等の導入と緑豊かな空間整備により水と緑の拠点を形成する。

特徴1 質の高い居住機能、地域の生活利便性を高める生活利便施設・生活支援機能の導入

特徴2 水際空間のまちを体現する魅力的なオープンスペースの整備

特徴3 人と緑がふれあう大規模な緑化空間の整備

■質の高い居住機能、地域の生活利便性を高める生活利便施設・生活支援機能の導入

職住近接の都市型居住のまちの実現に向けて、東京メトロ有楽町線「豊洲」駅徒歩4分という交通利便性や水辺との近接性を活かした質の高い居住機能を導入いたします。また、地域の生活利便性を高める生活利便・生活支援機能(スーパーマーケット・保育所(予定))を導入することで、入居者だけでなく、地域の皆様の生活環境の向上に貢献いたします。なお、住宅棟の一部住戸においては、東京ガスが供給するマンション向け家庭用燃料電池「エネファーム※」を導入予定です。

※エネファームについて

「エネファーム」は都市ガスから取り出した水素を空気中の酸素と化学反応させて発電し、発電した電気は家庭内で利用します。その際に出る熱も給湯に利用します。電気を作る場所と使う場所が同じであるため送電ロスがなく、また発電時に出る熱を無駄なく活用できる、環境に大変優しいシステムです。

■水際空間のまちを体現する魅力的なオープンスペースの整備

豊洲駅から水辺に至る導入空間として、水際空間のまちを体現する魅力的な空間整備を図るため、水辺へのアクセス機能とにぎわいを創出する広場機能を備えたプロムナードの整備をはじめ、水域や公園と連続する多様なオープンスペースを創出します。



■人と緑がふれあう大規模な緑化空間の整備

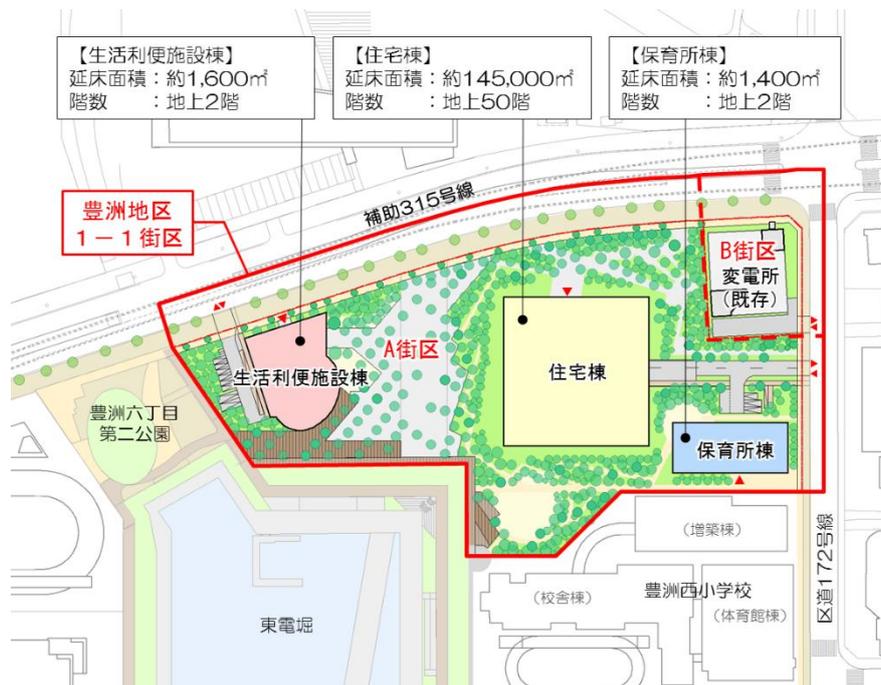
水と緑の拠点の形成に向けて、本計画によって創出される広大なオープンスペースを活用し、地区全体で大規模な緑化を図るとともに、オープンスペースの特性に併せた多様な緑化空間を整備します。またオープンスペースにおいてはエリアマネジメント活動を実施し、入居者や地域の皆様が水辺を楽しみ交流できるまちづくりを推進します。



■「(仮称)豊洲1-1街区開発計画」概要

計画地	東京都江東区豊洲五丁目1号			
事業予定者	東急不動産株式会社、株式会社NIPPO、大成有楽不動産株式会社			
敷地面積	約24,300㎡			
建物名称(仮称)	全体	住宅棟	生活便利施設棟	保育所棟
延床面積	約148,000㎡	約145,000㎡	約1,600㎡	約1,400㎡
用途	—	共同住宅	店舗	保育所
階数	—	地上50階地下1階 約1,230戸	地上2階	地上2階
建物高さ	—	約180m	約10m	約10m
スケジュール	着工:2018年度、竣工:2021年度			

■配置図



■案内図



＜本件に関するお問い合わせ先＞

東急不動産株式会社 企画政策部 広報室 TEL:03-5414-1349 FAX:03-5414-1350